

## 鳥取県中部地震 観光復興に関する要望

去る10月21日に鳥取県中部で発生した「鳥取県中部地震」により、県民の誇りである倉吉市の「白壁土蔵群」が被害を受けた中部域のみならず、県東部や西部など周辺地域の観光地でも影響が広がってきている。

鳥取県中部のホテル・旅館等では営業を再開した10月23日以降も予約のキャンセルが相次いでいるほか、ほぼ被害の無かった東部の鳥取砂丘や西部の水木しげるロードなどにおいても観光客の入り込み数が急減し、同様に予約のキャンセルも相次ぐなど、風評被害を含め県の観光産業等へ大きな被害が生じている。

このため、紅葉やカニ鍋などシーズンを前に、風評被害を解消するとともに、宿泊等観光産業への経営支援、観光地の復興への迅速な対策が必要となっている。

鳥取県においては「鳥取は安全である」ことを国内外に向けて情報発信しているが、鳥取県は関西が一体となり取り組む広域観光周遊ルートにおいて重要な観光拠点になっており、訪日外国人旅行者をはじめ関西全体の観光産業へのマイナス影響も考えられるところである。

関西広域連合としては、鳥取県観光の復興を図るため、国において次の事項について早急に万全の対策を講じられるよう強く要望する。

### 1 風評被害の解消に向けた正確な情報伝達

ほぼ被害がなかった地域においても風評被害でキャンセルが生じており、鳥取県は安全であることの情報提供に努めること。

### 2 観光誘致強化のための「鳥取ふっこう割」の創設

観光客回復に向けた対策として、現在、九州7県を対象に実施している「九州ふっこう割」と同様の「鳥取ふっこう割」を創設し、鳥取県観光復興キャンペーンを強力に支援すること。

平成28年11月1日

鳥取県知事

平井 伸治

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸 敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
委員	滋賀県知事	三日月大造
委員	京都府知事	山田 啓二
委員	大阪府知事	松井 一郎
委員	奈良県知事	荒井 正吾
委員	鳥取県知事	平井 伸治
委員	徳島県知事	飯泉 嘉門
委員	京都市長	門川 大作
委員	大阪市長	吉村 洋文
委員	堺市長	竹山 修身
委員	神戸市長	久元 喜造